

尚絅学院大学 環境構想学科 第1回 環境マルシェ活動報告 (2016年度)



環境は広く学ぶとおもしろい！

大学生と高校生、各種企業や団体、
それぞれの活動を見てほしい。
次はあなたが参加する番です。

2016年度 実施内容 イベントプログラム

11:00～15:00 環境活動の紹介展示
見て楽しく学ぶ体験ができる！

13:00～14:00 高校生パネル発表
県内高校生による環境にかかわる取組みの発表

14:00～14:30 まとめのシンポジウム
「環境マルシェの集いから広がる環」
わ
パネラー：リコージャパン＆尚絅学院大学環境構想学科教員

14:30～15:00 表彰式



期日：2016年6月26日（日）11:00～15:00

会場：仙台市サンモール一番町商店街アーケード内

主催：尚絅学院大学 総合人間科学部 環境構想学科

後援：宮城県、宮城県教育委員会、仙台市 協力：サンモール一番町商店街振興組合

問合先：尚絅学院大学 鳥羽 妙 TEL & FAX 022-381-3359 E-mail : t_toba@shokei.ac.jp
〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘 4-10-1

次回予告

「環境マルシェ」

2017年6月25日（日）
開催します！

① クラフトショップもくもくハウス

「もくもくハウスの製品はどう作られる？」

登米市津山町では、国産材を使用し独特の技法で木の香り豊かな家具や器、おもちゃを製造販売しています。



マルシェでは、原料や技術、実際の製品を紹介しました。手に取って触ってみることや、材料、製作工程を知ることが出来ました。



③ NPO法人 しんりん



「森を、ほんものの木を知っていますか？
～木こりと大工から～」

切るだけではない森を活かす木を活かす伝統的で新しい木こりの仕事と、そこから生み出される商品を紹介しました。木こりは、人だけではなく馬や牛もパートナーです。

協力：サスティナライフ森の家



② 宮城県林業技術総合センター



「森を育てるのに必要な種のこと」

植林される際に植えられる苗木。その苗木もしくは種は林業技術センターで生産されているをご存知ですか？

種はどうやって集められているのか？苗木はどう育てられるのか？

宮城県の森を支えるお仕事の一部を紹介しました。



④ 食猟師 小野寺 望



「食漁師の使命」



ニホンジカやイノシシが増えすぎて様々な問題が起きています。

有害捕獲だけではなく狩猟で捕獲された旬の野生食材を自然の恵みとして余すことなくいただく大切さを紹介しました。

鹿角を使ったキー ホルダーザクリの体験もできました。

⑤ 建築工房零 + 泉ヶ岳ゼロ村牧場パカラッチョ!!



「地球と暮らそう！
暮らしづくりの紹介」
「建築廃材を使って遊ぼう！」

建材をはじめとした自然素材、家庭で使用する環境配慮型エネルギーを紹介しました。



パカラッチョ！！のブースでは、尚絅学院大学の学生も一緒に考えた建築時に発生する廃材を利用した遊びが体験できました。



出展内容 11:00–15:00 OPEN

⑥ リコージャパン



「環境について考えよう
エコタウンを作りましょう！」

プリンターをはじめ様々な商品を販売し、画像解析などの技術も展開しています。マルシェでは、その場で描いた絵を開発したアプリ上の「エコタウン」に取り込み、どんなものがエコなまちに繋がるのか？それを考える環境教育の体験コーナーがありました。



⑦ サイコー



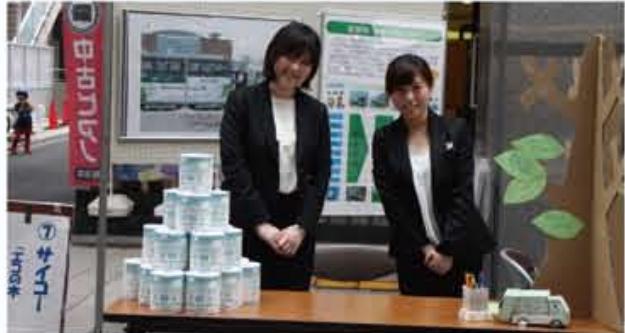
「エコの木
みんなでエコ life」

サイコーでは廃棄物全般の回収、分別、再資源化を行っています。



マルシェでは、地域の皆さんを取り組んでいるごみの分別をはじめとしたエコな活動を「エコの木」に書き込んでもらいました。

たくさんの情報を共有することで、エコの木を完成させました。



⑧ 仙台市環境局ごみ減量推進課

「分けてみよう♪
雑紙釣り堀にチャレンジ！」

ごみの分別はわかりにくいものが多いと言われます。

特に紙は難しいため、釣り堀に入れられた様々な紙ごみの中から、種類を選んで釣り上げることで分別方法がわかる「釣り堀ゲーム」で学ぶ体験コーナーにしました。



⑨ みやぎ環境とくらしネットワーク (MELON)



水の硬さ(硬度)を知っていますか？硬度は国や地域の違い、浄水の状態によって変化します。硬度の異なる3種類の水を飲み比べ、味の違いや泡立ちの違いを体験できるようにしました。

「水飲み屋
おいしい水を
体験してみよう！」



⑩ Newsed Project

「廃材を素材としたアップサイクルブランド」

古くなってしまったものを新たな視点で見る、別の新しいものとして蘇らせる、アップサイクルを知っていますか？使わなくなったもの、古いものだからこそその良さを活かした商品を紹介。



⑪ 仙台買取館

「サムライアロハ 東北から世界へ 古着物をシャツに」

ハワイ諸島に移り住んだ日本人が着物をシャツに仕立て直したのが始まりのアロハシャツ。利用されない古着物がもったいない！それをアロハシャツにしました。宮城や福島の人たちが丁寧に一着一着作り上げたアロハシャツを紹介しました。



シャツの残り布で尚絅学院大学の学生が作製した付衿も展示しました。
(玉田研究室と産学連携)



⑫ 尚絅学院大学 環境活動サークル FROGS

キャンパス内で取組んできたエコステーション活動が、大学祭のカーボン・オフセットの取組みに発展。これまでの学内外での様々な環境活動を紹介。



⑬ 尚絅学院大学 繊維リサイクル・リユースゼミ

「テント膜廃材で 物作り」

膜建造物を作る工場（太陽工業）から大量のテント膜残布が排出されます。

その素材を利用して照明やフラワーポットを作りました。環境構想学科の玉田研究室の取組みを紹介。

テント膜のフラワーポットを皆さんにプレゼントしました。



高校生による環境への取組み発表

司会
渡邊教授

13:00 – 14:00 発表 14:30 表彰式

泉館山高校



ベストポスター賞 ※



二華高校



尚絅学院大学 学長賞

合田隆史
学長

賞状授与
久慈教授



「米粉が世界を救う」(泉館山高校家庭部) ※一般・参加者投票による賞

「河川清掃活動に対するボランティア参加意志と金銭的協力意志」「親子の川に対する意識の関連性」

白石工業高校



エコライフ賞 ※



「クリーンエネルギー」
利活用実践推進事業

※一般・参加者投票による賞



多賀城高校

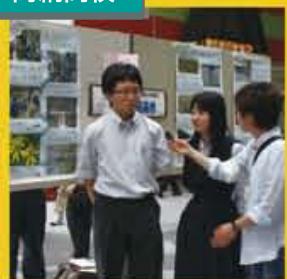


環境構想学科賞



「塩竈市野ノ島におけるマツ類のハイブリッド調査」

尚絅高校



「奉仕の日 in ありのまま舎」「水の森での笹刈り」
「岩沼の海岸付近での奉仕活動」「広瀬川での清掃活動」

高校生ポスター発表 24 最後に記念撮影！



ベストポスター賞
エコライフ賞
一般・参加者による投票で決定





環境構想学科の学生による取材

各ブースの取材を担当しました。五感で環境を学べるブースが多く、鹿の角を利用した小物作り、水の飲み比べ、間伐材を利用したおもちゃなどがありました。各企業さんの特色を生かしたさまざまな体験ができ、大人から子供まで楽しめるようそれぞれ工夫されていました。

これからこういったイベントを通じ、環境に興味を持ってくれる人達が増えることを期待しています。
(4年 濱崎 愛由)



展示ブース取材

4年 濱崎 愛由
ポスター発表高校生への取材
3年 増田 美鈴
2年 鮎澤 恵
映像記録
3年 石垣 義泰

まとめのシンポジウム 「環境マルシェの集いから広がる環」

高校生が環境をテーマに興味関心を持ったことが、社会とどのようなつながりを持つのか？学びと社会との繋がりを、出展していただいた方々の企業やNPOなどの取り組みと結びつけながら、確認しました。



また、リコージャパンの猪俣さんより、会社の環境活動をわかりやすく説明していただきました。私達が日常生活で問題意識を持つことが、社会の課題に結びつくことを実感しました。



猪俣さん



パネラー：
リコージャパン宮城支社
ソリューション推進部
猪俣 香織さん
環境構想学科 鳥羽 妙
司会：同学科 玉田 真紀

大学生スタッフ感想

テント膜廃材で物作りのブースを担当。沢山の人と触れ合うことができ、自分自身勉強になる部分が数多くありました。様々な企業や団体がブースを出展しているため、いろいろな角度から環境についての考えをより一層深めることができました。ここに参加したことがとても良い経験となっています。

(1年 斎藤 麗菜)



約25名の大学生スタッフで運営

食獵師さんのブースを担当。大学入学前は、日本は発展している国なので、使い捨てが多いと思っていました。しかし、環境イベントに参加すると、物を大切に考えた使い方やリサイクルの意識がとても高いことがわかります。実際に参加することで学ぶことが多く、自分のライフスタイルの考え方も変わってきます。環境イベントに、日本に住む外国人の友人にも関心を持ってもらいたいです。(3年 レティ・トゥイ・キョウ)

せんだいタウン情報 S-style

2016年8月号 (ユーメディア発行)
よしもとお笑い芸人 爆笑コメディアンズの爆 ground
環境マルシェと環境構想学科の紹介が掲載されました！